

平成 23 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 旅籠屋
 代表者名 代表取締役社長 甲斐 真
 (コード番号・ 4807)
 問合せ先
 役職・氏名 代表取締役社長 甲斐 真
 電 話 03-3847-8858

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 1 月 28 日に開示いたしました平成 23 年 6 月期（平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期の業績予想数値の修正（平成 22 年 7 月 1 日 ～ 平成 23 年 6 月 30 日）（単位：千円）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	855,000	28,000	20,000
今 回 修 正 予 想 (B)	820,000	18,000	10,000
増 減 額 (B-A)	▲35,000	▲10,000	▲10,000
増 減 率 (%)	▲4.1	▲35.7	▲50.0
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 6 月期)	797,356	18,524	11,226

2. 修正の理由

東日本大震災の影響

- 一部店舗の一時休業
 「仙台亙理店」(3/11-23)、「いわき勿来店」(3/17-27)、「須賀川店」(3/18-27)
- ライフライン途絶時の無償宿泊受け入れ
- 大量の予約キャンセルの発生

すでに、一部には復興需要も生じており、今後の予想が難しいところですが、今期における震災に限った影響としては、現時点でおよそ以下のとおりと推定しています。

	第3四半期	第4四半期	合計
売上高	▲15,000千円	▲20,000千円	▲35,000千円
経常利益	▲ 5,000千円	▲ 6,000千円	▲11,000千円

なお、西日本では前年を上回る傾向を継続している店舗もあり、売上高・利益の予測はその差引きとなります。

震災の影響で宿泊施設が深刻な影響を受けているという報道がありますが、当社の場合、数年前と比べ西日本に店舗が増えていること、外国人観光客にまったく依存していないこと、汎用的な宿泊施設であり観光需要が減少しても復興需要を含むビジネス利用が増えるなど、売上高・経常利益の減少は限定的となる見込みです。

以 上